

心ちいっばい

おもいきりがしを言う

そこかく出したら 便甲致 云々へおく

正たして びるもの ぐりや とおわすの

目かわるいの

ほこり 何をとも思わすの

ほこり か たはらなうう 手びつかりる

それかわわろあのは かなり 目かわるい

それい さいあいの の 区別がたの

これわう 着る衣の も

今まで きたい たまの も いっしとにする

かや布團 どのとあしる

ふん来たう 何すかしい

そんなこと 考えなう

任事し 甲方の ぶうたする

朝おけよう シンああすし

でスケーとある

さめ純平 純平だ

いらを言う 何あい おまの の ころわん

正着を たやらの なく けかしていく

